

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2725	横浜エデンの園	(福)聖隷福祉事業団	H28.2.8
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	A	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	A	A	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	A	2.3.7	A	A	6.2.4	A	A
1.2.1	A	B	2.3.8	非該当	A	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	A	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	B	6.2.9	A	B
1.3.3	A	A	2.4.2	A	A	6.3.1	A	B
1.4.1	A	B	2.4.3	A	A	6.3.2	A	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	C	C
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.2	A	A	7.3.1	B	B
1.4.7	A	A	3.1.3	非該当	B	7.3.2	A	A
1.4.8	A	A	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非該当	非	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	A	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	C	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	A	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	A	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	A	A	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	B	5.2.5	A	A	7.6.3	A	B
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	A	A	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	非該当	A			

評価機関の所見

1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
1-3-2	個人情報委員会を設置し、職員の個人情報の取り扱い状況を確認し、必要な改善策を検討し職員を指導している。また、園長他4名の監督職がホーム内を巡回して、個人情報の管理状況を確認し、指導している。個人情報委員会では、入居者の氏名をホワイトボードに記載する必要がある場合等、氏名ではなく、部屋番号を記載するように改善している。個人情報の重要性を認識し、職員に対して指導、周知を図っている。
2-4-3	ホーム内の事故防止体制が整備されている。事故防止マニュアルの作成はもとより、毎月リスク委員会でアクシデントおよびインシデントの報告件数と内容を確認している。危ないと思うことはインシデント、発生したらアクシデントと基準を明確にし職員に説明している。さらに、事故については、SHELL分析で、原因が手順・設備・入居者・職員のどこにあるかを確認し、事故防止につなげている。
4-2-2	園の理念「ひとりひとりの笑顔のために」をモットーに、多くの年間行事に加え、毎月イベントカレンダーを作成し、入居者の楽しみを演出している。行事開催に際しては、実施計画書を作成し、それに対して各課から留意点を提案させている。さらに、実施後の報告確認書に各課で評価を記入させるなど、入居者に楽しんでもらえるような行事開催への組織的取り組みができています。
5-2-4	管理栄養士を配置し、食事をおいしく食べてもらえるよう工夫をしていて、日々の食事摂取には注意を払い、食形態やさまざまな治療食に対応している。また、個別に栄養アセスメントを実施し、栄養状態を把握するとともに、リスク管理に努め、高リスク者には補助食品などで支援している。さらに、必要に応じてサービス担当者会議に参加し、多職種と連携を図りながら、入居者の栄養管理に取り組んでいる。

2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-4-1	新人・1年目・2年目・中堅・管理職の階層別育成計画を法人で作成し、各職員の階層に対応した研修を受講させている。また、知識と能力を4段階で示し、職員がどのレベルに位置しているかを自己チェックと上司のチェックで確認している。しかし、職員一人ひとりの人材育成計画については確認できなかった。各職員のレベルに応じた求める知識と技術を習得するための個別育成計画を策定するとともに、支援する取り組みが望まれる。
2-4-1	金品の授受については、入居者等には掲示等で金品の授受は行わないことを伝えている。また、職員に対しては、内部研修で受け取れない旨を説明し、辞退するよう周知している。しかし、止むを得ず受け取りをする場合も考えられるため、今回限りを入居者および家族に伝えるとともに、管理者等に報告し、取り扱いをどうするかを明示したマニュアルまたは規則の策定を検討されたい。
5-1-1	牛乳・ヨーグルト・チーズなど乳製品では好みの1品を選ぶことができるが、食事の献立は決まっており、朝食・昼食・夕食とも選択食は行っていない。今後の食事への工夫として、和・洋食の選択や主菜の選択ができる献立を提案し、毎日の食事が入居者にとって、今以上に楽しみなものになるよう、バラエティーに富んだ食事の提供に期待したい。
6-3-1	各種マニュアルを作成し、ケアステーションに備えている。実践を伴った介護技術に関しての研修は入職時には行っているが、その後は実施されていない。今後はマニュアルに基づき、介護技術向上のための研修計画とともに、職員の職種や階級別での研修の計画も含めて策定し、研修を実施するなど、さらなる職員の資質向上に向けた取り組みが求められる。